

オオキノコムシ *Encaustes praenobilis* Lewis

【選定理由】

ブナ林などに生息し、サルノコシカケ類などの菌類に集まるが、個体数は少ない。

【形態】

体長 16～36mm。黒色で前胸背と上翅の四隅に濃赤色の斑紋がある。体は長く、両側はほぼ平行。

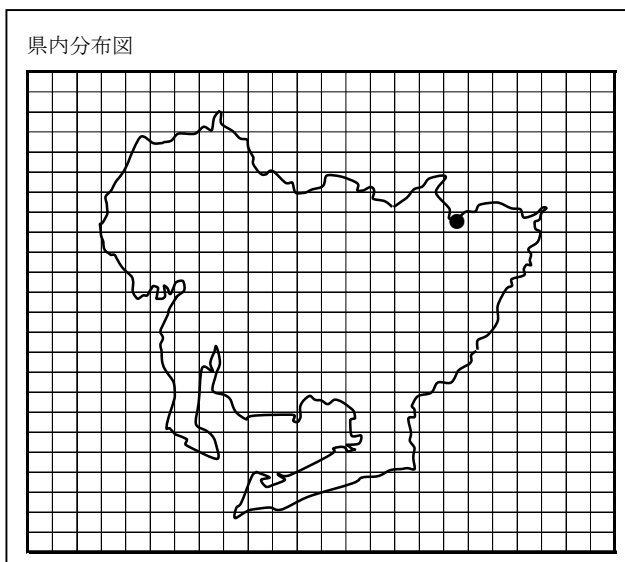
【分布の概要】

【県内の分布】

北設楽郡の山地（大野, 2001）、豊田市（旧稲武町）（佐藤ほか, 1990）。

【国内の分布】

本州、四国、九州に分布する。



【生息地の環境／生態的特性】

自然度の高い森林に生息する種で、県内では豊田市（旧稲武町）に生息地が見つかった。近年個体数が減少してきている。

幼虫は白色腐朽菌の蔓延したブナなどの朽ち木を食べて成長する。成虫は主に夜間キノコ類に集まり、これを食べる。

【現在の生息状況／減少の要因】

近年の調査から、かなり減少傾向がみられる。生息地では、シカの食害による林床の乾燥化が進行し、幼虫のホストとなる条件を満たす倒木が減少しているのが要因の一つと考えられる。

【保全上の留意点】

キノコ類の豊富な自然度の高い森林に依存しているため、乾燥など生息地の環境変化に対して留意する必要がある。

【引用文献】

大野拓夫, 2001. 宮城昆虫 22. 宮城昆虫同好会, 仙台.
穂積敏文, 1990. 愛知県の甲虫 (II). 愛知県の昆虫, (上): 232-308. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)